

ネットワークセンター事業報告:

ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務局

本事業事務局では、福島県が実施する「ふるさとふくしま交流・相談支援事業補助金」の事務業務をおこなっています。この補助事業では、福島県から県内外に避難されている方を対象として実施される、交流会の開催や戸別訪問などの避難者支援事業に対して補助金が交付されています。

本年度は、県外避難者を支援する「県外避難者支援事業」で52団体、県内の避難者と帰還者を支援する「県内避難者・帰還者支援事業」で29団体の事業が採択されています。各採択事業は、6月1日または8月1日より開始され、平成30年3月までの間に継続的に実施されます。

事務局では7月までに、応募書類の精査や、応募団体への審査結果の通知を終え、7月からは全国の採択団体81か所を訪問し、事業の実施状況や事業会計の整理状況の確認等を実施しています。訪問では、事務処理上の疑問点などの確認のほか、補助金事業への要望等も多く寄せられます。

ネットワークセンターによる本事業の受託運営は本年度で2年目となります。本年度は昨年度の実績を踏まえて、採択団体の事務業務の効率化のため、事業報告様式の改善や会計事務マニュアルの作成等の提案を事務局よりおこないました。事務局の提案をもとに、本年度は新たな報告様式等により各採択事業が進められています。

本事業ウェブサイト(<https://www.ff-shien.jp>)では、各採択団体が実施する避難者交流会などの実施予定を随時更新しています。団体の概要や各事業内容の紹介もありますので、ぜひご覧ください。



(ふるさとふくしま交流・相談支援事業事務局 サブチーフ 山崎 友也)

—福島県より受託、運営している施設—

●ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島市中町 8-2 福島県自治会館 7F
TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741
URL <http://www.f-npo.jp/saposen/>
E-mail saposen@f-npo.jp

—福島市の指定管理制度で運営している施設—

●福島市市民活動サポートセンター

〒960-8041 福島市大町 4-15 チェンバおおまち3F
TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560
URL <http://www.f-ssc.jp>
E-mail f-ssc@bz01.plala.or.jp

—福島市より受託、運営している施設—

●まちの駅 ふくしま情報ステーション

〒960-8053 福島市三河南町 1-20
コラッセふくしま 1F
TEL 024-525-4020 FAX 024-525-4027
URL <http://www.machi-fukushima.jp>
E-mail info@machi-fukushima.jp

編集後記

9月となり各事業所共に事業が佳境に入り、各チームはじめ職員一同気を引き締めて頑張っております。各事業所近くにお寄りの際は、是非とも職員にお声掛けください。

助成金事業(のっぽ基金助成金、ふくしま元気市民活動助成金)の募集も始まりました。

私も担当理事として、職員に負けずに頑張ろうと思います。

助成金に是非とも応募下さい。

(ふくしまNPOネットワークセンター常務理事 菅野 真)

●編集・発行

認定特定非営利活動法人
ふくしま NPO ネットワークセンター
〒960-8068
福島市太田町 12-30 マルベリービル 6階
TEL 024-572-7930 FAX 024-572-7931
E-mail center@f-npo.jp URL <http://www.f-npo.jp/>



認定 NPO 法人 ふくしまNPOネットワークセンター通信 No.65

のっぽの手

◆◆◆◆ 注目記事 ◆◆◆◆



「総会を終えて」

各ネットワークセンター
「事業報告」

2017年 9月発行

総会を終えて

ふくしまNPOネットワークセンターの2017年度通常総会は、去る7月22日に開催されました。2017年度もネットワークセンターは、

- ①中間支援NPOとしてのミッションを確認しながら、
- ②ふくしま地域活動団体サポートセンター(サポセン)を中心とした事業(福島県委託)、
- ③ふるさとふくしま交流・相談支援事業(ふるふく)の事務局運営(同)、
- ④福島市市民活動サポートセンター(ふくサポ)を中心とした事業(福島市指定管理および委託)、
- ⑤まちの駅ふくしま情報ステーションを中心とした事業(福島市委託)に加え、
- ⑥ふくしま市民活動フェスティバルの事務局運営、
- ⑦助成金事業(のっぽ基金助成金、ふくしま元気市民活動助成金)

などに取り組んでいきたいと思っております。

なお、先の総会をもって、齋藤美佐さんが常務理事を退任されました。また7月いっぱい、事務局の要であった根本靖子さんが退職されました。お二人の長年のご尽力にこの場を借りて感謝したいと思います。

三役と事務局の当面のパワーダウンは避けられないのかもしれませんが、けれども悩んでいる暇はありません。この体制で何とか走っていきたく思いますので、ご支援のほど、よろしくお願いします。



(ふくしまNPOネットワークセンター



理事長 牧田 実)

ネットワークセンター事業報告:

まちの駅ふくしま情報ステーション

平成29年度ふくしま情報ステーション事業は、平成29年度福島市市民活性化支援事業補助金申請から始まりました。5月22日開催のまちの駅ネットワークふくしま定時総会では役員改選も行われ新体制でスタートしました。

■平成29年度福島市市民活動活性化支援事業補助金申請書提出5/17

・「まちの駅ネットワークふくしま」活動推進事業交付決定7/4

■「まちの駅ネットワークふくしま」定時総会5/22(役員改選) ・第26回駅長会議

- ・会長 福地 雅人(まちの駅 パセナカ Misse)
- ・副会長 齋藤 功(パンの駅 まちなか夢工房)
- ・副会長 岡崎 俊資(うつわの駅 おかざき)
- ・会計監査 蓮沼 幹子(まちの駅 おぐら茶屋)
- ・会計監査 上田 浩(まちの駅 大町きたさん)

■第27回駅長会議7/24



～駅長会議のようす～

(ふくしま情報ステーション 所長 齋藤 美佐子)

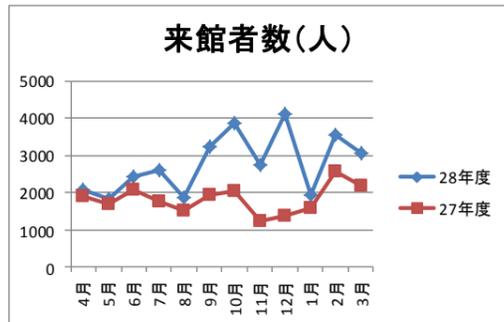
ネットワークセンター事業報告:

福島市市民活動サポートセンター



「昨年度の経験から、今年度事業を視る」

平成17年に開設した福島市市民活動サポートセンターも今年度で12年目を迎える。平成29年度の来館者数は30,000人を超え、NPO・市民活動団体、町内会、企業、学生の枠を超え多くの方にご利用いただいている。ことに、会議室や印刷室の利用者は年々幅広い方々に利用していただけるようになった。この利用の中で「市民活動団体同士、NPOや町内会、企業とのマッチングの芽がでるのではないかと期待しているところだ。



昨年度は、私共も多くの団体とのマッチング事業を意識し、「まちづくりカフェ」や「ふくしま市民活動フェスティバル」、「実践講座 親子で学ぼうお金の仕組み」などを実施してきた。

＜まちづくりカフェ＞

歴史をたどるまち歩きや工場(企業)見学、信夫山の魅力発見の山歩きなどを実施。



＜親子で学ぼう！お金の仕組み＞

福島銀行さんに御協力頂き、子どもたちにお金の

流通を知ってもらおうと、銀行によるお金の講座とゲーム形式によるワークを行った。

＜ふくしま市民活動フェスティバル＞

「協働の種」をテーマに企業のブースも設置し、寄付付商品の販売や企業などから寄贈いただいた商品をオークションにかけ、今後の市民活動の資金とさせていただきます。もちろん、参加団体の皆さんのブースを楽しく見学いただくための会場見学ツアーも実施した！

昨年度の実施の手ごたえや参加者アンケート等をもとに今年度は10以上のイベント・講座を実施する予定である。

＜平成29年度講座開催＞

市民活動ステップアップ講座

- ①NPO基本講座(8月3日(木)実施済)
- ②コミュニケーション力アップセミナー(8月26日(土)実施済)
- ③助成金申請のコツを学ぶ(10月4日(木)予定)

NPOマネジメント講座

- ①一言で味方を増やす奇跡の話術セミナー(9月9日実施済)
- ②人材育成講座(9月30日(土)予定)
- ③税務・会計 初級講座(10月13日(金)予定)
- ④広報講座(11月29日(水)予定)

オープンセミナー

- ①映画でまちづくり(12月2日(土)予定)
映画が鑑賞できます！！
- ★いきいき夜楽・・・毎月最終週の木曜日
福島大学名誉教授の清水修二氏が毎月違ったテーマでの楽しい講義と参加者とのセッション。

他にもたくさんの企画をご用意しています！！

(福島市市民活動サポートセンター チーフ 内山 愛美)

ネットワークセンター事業報告:

ふくしま地域活動団体サポートセンター

ふくしま地域活動団体サポートセンターは、福島県内の各市町のサポートセンターや中間支援団体との情報交換会、講座開催、相談業務を行う「NPO強化マネジメントサポート事業」をはじめ、高校生・大学生・専門学生がNPO法人へ夏休み期間1週間～10日程度のインターン活動を行う「チャレンジインターンシップ事業」、あわせて今年度は「NPO、企業、学生との連携・協力事業」及び「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」業務も行っていきます。

【NPO強化マネジメントサポート事業】

昨年度に引き続き情報交換会を通して、県内サポートセンターとのネットワーク形成を目指しています。

第1回地域活動団体中間支援センター情報交換会

日時:平成29年6月21日(水)13:30～16:00
場所:郡山市ミューカルがくと館大ホール

＜第1部 休眠預金に関する説明会＞

休眠預金に関する法律の構成、休眠預金の移管・管理・活用のイメージを内閣府休眠預金活用担当室 参事官補佐 赤井久宣氏に説明いただきました。休眠預金の活用は、短期・長期の変化を含めた事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム(効果)を評価とした、社会的インパクトが重要になってくるようです。説明会後の質疑応答では参加者の関心の高さがうかがえる濃い時間となりました。

＜第2部 情報交換会＞

各中間支援センターに現状を報告いただいた後、昨年度開催した「福島県NPOのつどい」を振り返り、今年度の開催等についての意見交換をおこないました。



第1回地域活動団体中間支援センター情報交換会の様子

昨年度の意見を反映し、12月6日(水)に郡山市の郡山市ミューカルがくと館大ホールで開催予定です。

各種講座も県内各地で開催しています。単発で基礎から始める講座、より深い知識の習得を目指した連続講座など様々な方に参加いただける内容となっています。そこでは団体間の交流を深めていけるようなきっかけづくりも心掛けています。

今後の講座については以下になっています。一般社団法人ふくしま連携復興センターの山崎庸貴氏を講師に迎え11月7日(火)会津若松市ピカリン

ホールにてファンディングを含んだ市民協働の講演と講座を開催します。

12月10日(日)には講師に久野雅己氏を迎え、田村市役所1階多目的ホールにて、市民活動団体向けのSNS講座(仮)を予定しています。



NPO基礎講座 5月24日(水)開催
会計・税務講座 6/1・8・15(木)開催(3回連続)

【チャレンジインターンシップ事業】

3年目のこの事業は、今年度は受入れ学生、団体ともに規模を拡大しておこなっています。福島県在住、出身の大学生、高校生、専門学生49名を県内21の団体にインターンシップ受入れをいただいています。7月8日(土)の開講式を皮切りに7月、8月、9月と福島復興を目指して、自発的かつ意欲的に活動が行われています。学生や受け入れる団体の熱い意気込みはサポセンのニュースレターやサポセンHPでも取り上げているので、そちらをぜひご覧ください。

(<https://f-saposen.jp/>)



インターンシップ開校式での集合写真

【NPO、企業との連携・協力事業】

今年度初となるこの事業はNPOと企業との連携・協力を図ることを目的としています。社会課題解決にむけて地域活動を行うNPOと社会貢献活動を行っている、または行いたい企業をアンケート調査することで、現状把握しより良い連携が図れるようにサポートいたします。今後はマッチングのための講座を2種類、それぞれに県内3か所(福島市、会津若松市、いわき市)で10月、11月に開催予定です。

(ふくしま地域活動団体サポートセンター チーフ 野地 理恵子)